

買い物代行における新型コロナウイルス感染防止のためのガイドライン

第 1.0 版

2020 年 4 月 11 日

株式会社アイディアシップ

ガイドラインの目的

新型コロナウイルスの感染拡大が進む中で、自分や家族が感染した、あるいは感染の可能性があると思う多数の方々が、政府や自治体の要請に応じて、外出を控えています。外出が難しい人の代わりに買い物をする「買い物代行」は、以前から各地の事業者、団体、個人などによってさまざまな形で行われてきましたが、その重要性がさらに高まっています。ちょっとした買い物を、隣人や友人の分までしてあげて届ける、という方々も少なくないのではないのでしょうか。

このガイドラインは、感染のリスクを避けながら買い物代行をするために注意すべき点を整理したものです。足りない点があるかもしれませんが、多くの方々のご指摘をいただきながら、改善していきたいと考えています。

買い物代行における感染防止のための 7つの呼びかけ

- ① 買い物の品目と行き先を絞りましょう。
- ② 依頼者との接触を最小限にしましょう。
- ③ マスクを使いましょう。
- ④ 人との間隔を保ちましょう。
- ⑤ 手を清潔に保ちましょう。
- ⑥ 車両を清潔に保ちましょう。
- ⑦ 体調を維持し、無理は避けましょう。

ガイドライン

① 買い物の品目と行き先は、できるだけ絞る

- ✧ 買い物の品目を依頼する方にとって必要性の高いものにできるだけ絞ることや、行き先を極力増やさないことが、買い物代行をする方の行動範囲を限定し、感染のリスクを抑えることにつながります。

② 購入品やお金の受け渡しは、依頼者との接触を最小限に

- ✧ 感染のリスクを避けるには、品物の受け渡しの時に、(残念なことですが) 依頼者との対面を避けることが大事です。購入品を段ボール等に入れて、玄関先に置いていくやり方を推奨します。依頼者には、事前に届けるおおよその日時を伝える、届けた際にインターホンで伝える、事後に連絡を入れる、といったやり方で、受領の確認をしていただくことができます。
- ✧ 代金・料金の受け渡しも、対面ではないやり方を推奨します。玄関先の箱などで授受をする方式から、郵便、口座振り込み、電子決済を利用する方式までさまざまに考えられます。いずれの場合も、事前にやり方を伝えておく必要があります。
- ✧ どうしても対面でのやり取りが必要な場合には、接する時間を最小限にとどめる工夫をしてください。また、依頼者との間隔を **2m** 以上保つことと、依頼者に訪問時のマスク着用や直前の手洗い・消毒をしていただくことも推奨します。

③ マスクを使用する

- ✧ マスクには、周りの人と自分自身の飛沫感染を予防する一定の効果があります。買い物代行をする方々には、マスクの使用を強く推奨します。
- ✧ マスクは、清潔なものを使うことが、感染予防上大事です。汚れる場合があるため、スペアを持ち歩くことを推奨します。
- ✧ マスクの表面はウイルスで汚染されやすいため、触れないように注意する必要があります。マスクを外す時や再着用する時は、ゴムやひもをつまんで外すやり方が基本です。

④ 人との間隔を保つ

- ✧ 店舗が込んでいるときは、できるかぎり入店を避けましょう。
- ✧ 列に並ぶ時には、前の人から飛沫が届きにくい間隔 (1m 以上) を空けましょう。それ以外の場面でも、できるだけ周りの人との間隔を空けましょう。
- ✧ 買い物は速やかに行い、長時間お店にいることは避けてください。

⑤ 手を清潔に保つ

- ◇ 買い物をする前と後、配達をする前と後には、石鹼を使って手を洗うか、または消毒剤による消毒をすることを強く推奨します。
- ◇ 何かに触れたままの手で、自分の顔（特に目、鼻、口）を触れないことが大事です。

⑥ 車両を清潔に保つ

- ◇ 買い物代行に車両を使用する場合には、品物を入れる箱などを清潔に保つことを推奨します。
- ◇ 使用済みのマスク、鼻をかんだティッシュなど、ごみはすぐにビニール袋に入れて密閉させて捨てることが大事です。

⑦ 体調維持を心がけ、少しでも不安があれば休む

- ◇ 毎日十分に食事と睡眠を取り、体調維持を心がけることが大事です。
- ◇ 日々の検温で体調の確認をしてください。
- ◇ 新型コロナウイルスへの感染の恐れがある場合（体温が 37℃以上ある、咳が続く、味覚や嗅覚がおかしい）には、買い物代行は行わず、休むようにしてください。

お問い合わせ

本ガイドラインについてのお問い合わせ（ご意見、ご指摘などを含めて）は、こちらからお寄せください。

<https://www.ideaship.info/contact-us/>（お問い合わせ）

以上